明治二十五年九月廿三日　（定價金二錢）　（本號八面）　（明治二十五年九月廿三日　郵便物認可）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報

第三千四百五十五號　金曜日
明治廿五年九月廿三日
（西曆一千八百九十二年）
（戊午）
日出午後五時三十一分
日入午後六時十五分
月出午後七時十三分
月入午後六時四十二分
黄道午後六時五十五分

時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一百月賦金五十錢〇三百月賦金一圓五十錢〇六百月賦金三圓〇一百年前金六圓〇月賦休刊
〇時事新報は毎日直接に讀者に配達スルモノハ定價ノ外ニ一百月十三錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字四字詰	一日即六日迄	一日以上七日以上
一行一件	十三錢	十一錢 十錢五厘

本社へ寄稿に付
東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

英國の黨派政治

前號にも述べたる如く此度び英國の自由黨が保守黨に代りて政權を握るに至りし所以のものは全く愛蘭派議員の補助を受けたるが爲めなれば其報酬には是非とも自治案を決行して以て愛人の歓心を買はざる可らず然らざれば今日政府が柱石として顧ひ所の八十の愛蘭議員は忽ち去て反對の群に加はり頓に政府方の人を減少して政權再び保守黨の手に歸するは必然なる可し如何となれば愛蘭議員の自由黨に加勢して共に運動を與にするは別に深き仔細のありて然るに非ず結局唯該黨に政權を握らしめて以て一日も速に彼の自治案の實行を見んと欲するものに外ならざれば若しも自由黨にして其注文通りに自治案を贊成するみとなからんには最早我味方として之を助るの必要あらざればなり思ふに今日愛蘭の自治黨員を除くの外、英國の政治家にして眞實心に自治案を贊成して其實行を希望する者を尋ねたらば必ず事ゝ指を屈するにも足らざる少數なる可し自由黨の政客は近來頻りに自治案を主唱するが如くなれども畢竟するに唯是れ愛蘭議員の投票を得んが爲めに一時の方便として心ならずも其說に贊成するものゝみ内面の實情を糺せば黨員の十中八九は愛蘭人民の利害眞誠なるに關しては其感情極めて冷淡にして今日已ひと稱ざるの行樂よりグラッドストーンの後に附て表面にみると雖に自治の必要を唱々すれ共其心に屈ん所と口に言ふ所と相例ひからざるもの多きは事實に徴して可らず自由黨員にして尚且然り況や保守黨若しくは聯合黨の政客に於てをや其人々の眼を以て見れば自治とは即ち國民の眞名にして一旦これを許す以上は愛蘭人は最早女王陛下の臣民に非ずして取りも直さず英國の個人に一の獨國を造るものに異ならずと確信して疑はず其無恢の情況の情狀にも然り可らざるものゝ如し斯の如き次第にて自治案に對しては英國人中に極端の反對者甚だ多きのみならず其贊成者と云はるゝ人も大概は唯公然これに反對せざるまでに止り眞實本心より愛人の說に同意して之を主張する者とては甚だ稀なるを知る可し要するに目下の形勢に據れば自治案は決して英人一般の希望する所の政案にあらざるに然るに其不人望なる自治案が近來議會に於て大に勢力を加へ或は遽からず下院を通過して法律ともならんとするの有樣に立至りしは抑も何故なるかと尋れば他おし愛蘭の議員が數年來固く相結んで一個の團體を成し國會に於る權力の平均を制して悉に他の大政黨を自家の用に使役するの手段を工風したるが爲めのみ蓋し英國には古より自由保守の二大政黨ありて政府の權は必ず兩黨の中某れか一方に落るの例にして二者の競爭は常に絶るみとなく互に有らゆる手段を盡して政權の取合に餘念なく凡そ政黨員たる者は自黨の爲めとあれば如何なる所行をも爲さゝるなき程の次第にして黨派の爭は隨分劇しき點にまで達したる其中に獨り彼の愛蘭自治黨の一派は此二政黨の中間に獨立して孰れにも加名せず其目的とする所は唯一の自治あるのみにして自由黨にても保守黨にても苟も自治を贊成する者は友となし自治に反對する者は敵とあす其趣は恰も自治案を代價として自家の投票權を賣るものに異ならず英國下院に於る愛蘭派の投票數は凡そ八十なれば之を味方にすると敵にするとにては百六十票の差を生ずる譯にして總數六百七十の投票中百六十の得失とありては決して輕視す可らず現にグラッドストーン氏は今回の新議會に四十の多數を制して保守黨の政府を倒したりと雖も若しも愛蘭の議員が氏を助けずしてソールズベリー侯に與したらんには保守黨は自由黨に對して却て百二十餘の多數を制し勝敗、處を變てグラッドストーン派の大失敗となりしに相違ある可らず愛蘭自治黨の英國の政治社會に勢力あるも亦謂れなきに非ざるなり凡そ何れの立憲國にても二個の政黨互に相爭ひ双方の勢力略ば相平均するときに當り局外中立の小黨派が其際に乘じて優劣の利を占るは古今其例に乏しからず亦是れ黨派政治に免かる可らざる一の弊害にして英國にては此弊害近來に至て益々甚だしく僅々八十名の愛蘭議員の爲めに國會議場を蹂躙され政府の存廢をも其欲する儘にせらるゝに至りしは大勢の然らしむる所と謂ひつべしの心を以て考へれば必ず憂慮に堪へざるみとあらん我國の政治家も宜しく英國に於る近來の政況を見て以て大に自から注意する所あらんみと我輩の願ふ所なり

雜報

○各地農況彙報

大坂府下に於ける綿河泉三國

大坂府（九月十九日附）　大坂府下の稻作の景況は極秋後別に水旱の憂なく生育充分なりしも土用中降雨多く冷氣を感じたる爲め稍作家は稍心勞す

静岡縣（九月十八日付）　本年の稻作に於ける同縣下の景況は極秋後時々降雨ありしが其後四十餘日間も降雨なく川流も枯るる程なれば灌漑の水絶えて田面龜裂し殆んど稻苗の萎縮を來すに至りしも九月三日に降雨ありしため農家は安堵の胸を撫ぜ一時の憂を免れたり

大坂府下に於ける綿河泉三國

明治廿五年九月廿三日　（西曆一千八百九十二年）

富山縣（九月十九日付）　本年の稻作は極秋後に至り一時の憂なく生育充分なりしも土用中降雨多く冷氣を感じたる爲め稍作家は稍心勞す

静岡縣（九月十八日付）　本年の稻作に於ける同縣下の景況は極秋後時々降雨ありしが其後四十餘日間も降雨なく川流も枯るる程なれば灌漑の水絶えて田面龜裂し殆んど稻苗の萎縮を來すに至りしも九月三日に降雨ありしため農家は安堵の胸を撫ぜ一時の憂を免れたり

大坂府下に於ける綿河泉三國

明治廿五年九月廿三日　（西曆一千八百九十二年）

富山縣（九月十九日付）　本年の稻作は極秋後に至り一時の憂なく生育充分なりしも土用中降雨多く冷氣を感じたる爲め稍作家は稍心勞す

静岡縣（九月十八日付）　本年の稻作に於ける同縣下の景況は極秋後時々降雨ありしが其後四十餘日間も降雨なく川流も枯るる程なれば灌漑の水絶えて田面龜裂し殆んど稻苗の萎縮を來すに至りしも九月三日に降雨ありしため農家は安堵の胸を撫ぜ一時の憂を免れたり

大坂府下に於ける綿河泉三國

明治廿五年九月廿三日　（西曆一千八百九十二年）

富山縣（九月十九日付）　本年の稻作は極秋後に至り一時の憂なく生育充分なりしも土用中降雨多く冷氣を感じたる爲め稍作家は稍心勞す

静岡縣（九月十八日付）　本年の稻作に於ける同縣下の景況は極秋後時々降雨ありしが其後四十餘日間も降雨なく川流も枯るる程なれば灌漑の水絶えて田面龜裂し殆んど稻苗の萎縮を來すに至りしも九月三日に降雨ありしため農家は安堵の胸を撫ぜ一時の憂を免れたり